

この「第3期えびなっ子しあわせプラン」全体を進めるために…

「えびなっ子しあわせプラン推進委員会」

にて、検討・協議を行います。

《 構成メンバー 》

校長代表3名、保護者代表1名、市教育委員会

《 スーパーバイザー 》

早稲田大学 教育・総合科学学術院
小林 宏己 教授

その他、今日的な課題に対応すべく…

「部活動推進協議会」を設けます。

海老名市の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」について、検討・協議
します。



第3期

『えびなっ子しあわせプラン』

海老名市教育委員会 教育ビジョン

「えびなっ子しあわせプラン」の歩み

第1期

(H26～29年度)

次の6点に取り組みました。

《 身につける3つの力 》

- ①学力の向上
- ②集団力の育成
- ③健康安全力の育成

《 これからの学校の姿 》

- ④教育課程の検討
- ⑤小中一貫教育の推進
- ⑥コミュニティ・スクールの導入

第2期

(H30～R2年度)

第1期の取組を継続しつつ、第2期では次の3つを重点に取り組みました。

①授業改善

- ・「授業改善実践推進委員会」での研究
- ・「よりよい授業づくり学校訪問【特別版】の実施

②新たな教育課程の編成

- ・「教育課程編成研究会」での研究

③小中一貫教育、コミュニティ・スクールの推進

- ・「新たな学校体制づくり推進委員会」での研究

第3期

(R3～5年度)

キーワードは『多様性』。
これまでの取組を継続しつつ、

①授業改善の実践

②教育支援体制の充実

③特色ある学校づくりの推進

を重点に取り組みます。

**えびなっ子の今と将来
のしあわせのために、
継続してまいります。**

多様性を受け止め、多様性を生かし、

えびなっ子ひとりひとりの学びを保障する教育をめざします

「えびなっ子しあわせプラン」は、海老名の子どもたちが、今、学校で生き生きと学習・生活するために、将来、自己実現を果たし、社会の一員として「しあわせ」に生きることをめざして、家庭・地域・学校・行政が力を合わせて取り組む教育計画です。

そのための「授業・教育課程・学校体制のあり方の研究・実践」を第1期、第2期において取り組んできました。

第3期では、それを継続するとともに、海老名市の子どもたちひとりひとりの学びを保障すべく、「多様性」をキーワードに、3つの重点に取り組み、「多様な学びの場と指導・支援方法の実践」、そのための「多様な支援体制と学校体制のあり方の研究」を行っていきます。

第3期えびなっ子しあわせプランの3つの重点



「授業改善実践推進委員会」

授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
★「よりよい授業づくりのための学校訪問【特別版】」の実施
- 今日的な教育課題である、プログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
★「学校ICT活用推進委員会」による研究
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います（予算確保や環境整備、教職員向けの研修など）



「よりよい授業づくりのための学校訪問【特別版】」
國學院大學 田村 学 教授による講義



タブレットを活用した学習

教育支援体制の充実

- 不登校、いじめ問題への具体的な対応策を拡充します
- 支援計画の作成や環境整備により、すべての子どもを対象とした支援教育を実践します
- 人材の活用を広げつつ、教育支援のためのチーム体制を整えます
★「不登校支援団体連絡会」の設置

「教育支援体制づくり検討委員会」

特色ある学校づくりの推進

- 各学校が特色ある教育活動を実践し、改善のための研究を行います
- 家庭・地域と連携・協働した学校運営を進めます
- 中学校区ごとのコミュニティ・スクールへ移行するための研究を行います
- 地域から支援され応援される学校づくりをめざします

「特色ある学校づくり推進委員会」



学校運営協議会で地域住民と学校職員がともに話し合っている様子



教育支援教室「びなるーむ」